

奄美の海開き

～海への感謝と一年の安全を願って～



令和5年4月22日
奄美海上保安部



4月22日、奄美市笠利町用安のばしゃ山村と奄美市小宿の大浜海浜公園で、海開きの式典が行われました。自然豊かな奄美大島は、スノーケリングやダイビングなどのマリレジャーが盛んで、島外から多くの人々が訪れ豊かな自然を楽しみます。式典では、海への感謝とマリレジャーなどの一年の安全への願いを込めて、神事、奄美三線の調に島唄奉納や海開き宣言などが行われ、ばしゃ山村に部長が大浜海浜公園に次長が出席しました。

あわせて、旧暦の3月3日（サンガツサンチ、今年は旧暦の2月が閏月で新暦で比べると昨年より約20日遅くなりました）に初節句を迎えた子供の無病息災を願って足を海水に浸す「ウナグヌセック」の慣習に、赤ちゃんを伴った多くの家族が子の健やかな成長を願いました。昔は、村中の人々が海岸に出て、「ウナグヌセック」を祝い、全員で美味しい食事などを楽しんだそうです。

奄美海上保安部は、美しい青い海と空と緑の大地、自然豊かなこの奄美群島で地域の皆様との絆を大切に、安全安心に努めます。



海開きの神事



初節句の赤ちゃんの健やかな成長を願って